# FootcelXml について

## 所在

FootcelXml モジュールは、スコアブック・データと同じフォルダ(デフォルトは、Footcel モジュールと同一フォルダに存在する”Data”フォルダ)内に存在する。このモジュールとスコアブック・データの所在は、システム設定画面にて、変更することが可能である。ただし、モジュール名は変更できない仕様である。

## 編集について

Footcel アプリを開いているときは、編集できない仕様である。その場合、一旦、Footcel アプリを閉じるか、Footcel アプリに実装されている"FootcelXml モジュールの編集”マクロを実行することで、編集が可能となる。

## FootcelXml

”FootcelXml”モジュールは、Footcel アプリで、編集・保存したスコアブック・データを管理するためのデータが保存されている。基本的に、Footcel アプリの処理に伴って、変更されるデータであるため、ユーザが、手動で編集することは、通常ないと思われる。**このモジュールに含まれるデータを、ユーザが変更した場合は、正常に Footcel アプリが動作しない可能性がある。**

FootcelXml モジュールに、含まれるデータについて、以下に説明する。

| シート(テーブル)名 | 説明 |
|---|---|
| TBL_SCORE_BOOK | ひと言で言うと、スコアブック・データの一覧である。スコアブックを新規作成すると追加され、保存すると更新される。また、スコアブック・データの削除を実行すると、この一覧から削除される。 |
| TBL_LAST_USED | 最近使った、スコアブック・データの一覧である。最近使った順番で、上から順番に管理される。最大 10 個まで、管理される。 |
| MST_IDX_SCBK | 【記録表】の編集セルの位置(行、列)情報の一覧である。スコアブック・データの、変更されたセル情報のチェックに使用されている。 |
| ID 採番 | スコアブックを作成するときに、採番されるスコアブック ID の管理に使用しているデータである。新規作成すると、1 ずつ値がインクリメントされる。この値の最大値は、2147483648 である。一つの FootcelXml モジュールで管理できる最大のスコアブック・データの数が、この値である。 |

## テーブル一覧

ここでは、個々のテーブルのレイアウトについて、以下に記述する。

### TBL_SCORE_BOOK テーブル

Tbl. TBL_SCORE_BOOK テーブル・レイアウト

| フィールド名 | 説明 |
|---|---|
| Xml ID | スコアブック・データの ID である。 |
| 日時 | スコアブック・データに記録されている試合開催の日時情報である。このフィールドは、日付までを管理し、時間や曜日については、省略している。 |
| ホームチーム | スコアブック・データに記録されている試合の、ホームのチーム名情報である。 |
| アウェーチーム | スコアブック・データに記録されている試合の、アウェーのチーム名情報である。 |
| 大会名 | スコアブック・データに記録されている試合の、リーグ戦やトーナメントなどの名前情報である。 |
| その他 | 上記の 5 項目だけでは、ユーザがスコアブック・データを特定しにくい可能性があるので、試合開催に関する情報を少しずつ連結した情報を管理している。 |

### TBL_LAST_USED テーブル

Tbl. TBL_LAST_USED テーブル・レイアウト

| フィールド名 | 説明 |
|---|---|
| Xml ID | スコアブック・データの ID である。 |

### MST_IDX_SCBK テーブル

Tbl. MST_IDX_SCBK テーブル・レイアウト

| フィールド名 | 説明 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| INDEX | 【記録表】のスコアブック・データの編集データに該当するセルに対して、順番に割り当てた値である。 |
| 行 | 【記録表】のスコアブック・データの編集データに該当するセルの行位置である。 |
| 列 | 【記録表】のスコアブック・データの編集データに該当するセルの列位置である。 |

## ID 採番テーブル

Tbl. ID 採番テーブル・レイアウト

| フィールド名 | 説明 |
|---|---|
| ID | スコアブックを管理するために付与する ID の値である。新規作成するごとに 1 ずつインクリメントされる。最新のスコアブックに付与される ID とも解釈できる。 |

## XML データの整合性チェック・マクロ

なんらかの誤り、もしくは、手違いにより、本モジュールの管理データと、実在する XML 形式のスコアブック・データの整合性がとれなくなった場合に(XML ファイルを削除してしまったなど)、それを修正するためのマクロを用意してある。(削除してしまったデータが復元される訳ではない。)

その場合、本モジュールを開き、メニューより”XML データの整合性チェック”マクロを実行する。処理は、場合によって、少し時間がかかる場合がある。